



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月1日

上場会社名 株式会社インプレスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9479 URL <http://www.impressholdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関本 彰大
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役/執行役員CFO (氏名) 山手 章弘 TEL 03 (5275) 9011
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第1四半期 | 2,572 | △4.4 | 58 | 56.6 | 50 | 21.9 | 124 | 91.1 |
| 24年3月期第1四半期 | 2,691 | △36.3 | 37 | △88.9 | 41 | △86.5 | 65 | △36.2 |

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 704百万円 (802.4%) 24年3月期第1四半期 78百万円 (△49.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第1四半期 | 3.47 | - |
| 24年3月期第1四半期 | 1.82 | - |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 25年3月期第1四半期 | 13,706 | 8,810 | 64.1 | 244.63 |
| 24年3月期 | 12,984 | 8,189 | 62.8 | 227.09 |

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 8,781百万円 24年3月期 8,152百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|---------------|---------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | - | - | - | 2.00 | 2.00 |
| 25年3月期 | - | - | - | - | - |
| 25年3月期 (予想) | - | - | - | 0.60 ~1.00 | 0.60 ~1.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|------------|-------------------|---|-------------|---|-------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期 (累計) | 5,200 ~5,600 | - | 40 ~120 | - | 80 ~130 | - | 2.22 3.62 |
| 通期 | 10,500 ~11,300 | - | 120 ~220 | - | 120 ~180 | - | 3.34 5.01 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 25年3月期1Q | 37,371,500株 | 24年3月期 | 37,371,500株 |
| 25年3月期1Q | 1,473,646株 | 24年3月期 | 1,473,406株 |
| 25年3月期1Q | 35,897,971株 | 24年3月期1Q | 35,900,107株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 5 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 5 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 6 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 6 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 6 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 6 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 6 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 7 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 7 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 9 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 10 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 11 |
| (4) セグメント情報等 | 11 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

| 事業セグメント区分 | 事業区分 | 事業内容 | 主要な会社 |
|--------------------------------------|--------|----------------------------------|--|
| IT (IT分野に関するメディア及び関連サービス事業) | メディア事業 | デジタル | デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等 |
| | | 出版 | 出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍等の企画制作、販売及び広告収入等 |
| | | ターゲット | ユーザー属性の明確な顧客層を対象としたメディアの企画制作、販売及び広告収入等 |
| | サービス事業 | 販促物等の受託制作及びその周辺サービス | ㈱インプレスR&D ㈱インプレスビジネスメディア ㈱インプレスジャパン ㈱Impress Watch 英普麗斯(北京) 科技有限公司 |
| 音楽 (音楽分野に関するメディア及び関連サービス事業) | メディア事業 | デジタル | デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等 |
| | | 出版 | 出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍、映像製品等の企画制作、販売及び広告収入等 |
| デザイン (デザイン分野に関するメディア及び関連サービス事業) | メディア事業 | デジタル | デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等 |
| | | 出版 | 出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍等の企画制作、販売及び広告収入等 |
| 医療 (医療分野に関するメディア及び関連サービス事業) | メディア事業 | ターゲット | ユーザー属性の明確な顧客層を対象としたメディアの企画制作、販売及び広告収入等 |
| | サービス事業 | 医学学会関連事業、医学コンベンション事業等 | ㈱メディカルトリビューン |
| 山岳・自然 (山岳・自然分野に関するメディア及び関連サービス事業) | メディア事業 | デジタル | デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等 |
| | | 出版 | 出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍、映像製品等の企画制作、販売及び広告収入等 |
| モバイルサービス (モバイル関連のメディア及びサービス事業) | メディア事業 | ターゲット | ユーザー属性の明確な顧客層を対象としたメディアの企画制作、販売及び広告収入等 |
| | サービス事業 | 電子書籍の企画制作、モバイル端末向けサービスの企画・開発・運営等 | ㈱ICE ㈱デジタルディレクターズ |
| その他 | | 出版事業等、電子出版等の事業開発及びR&D | ㈱近代科学社 Impress Business Development(同) |

(当第1四半期連結累計期間の業績全般の概況)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、文中の事業セグメントの売上高は、セグメント間の内部振替高を含んでおり、セグメント利益は、経常利益をベースとしております。

当第1四半期連結累計期間につきましては、主力事業である出版メディアを中心に堅調に推移いたしました。前第2四半期連結会計期間にソフトウェアのオンライン販売事業を譲渡した影響（前期実績：173百万円）を補えず、減収となりました。

これらの結果、売上高は前年同期（2,691百万円）に比べ119百万円減少し、2,572百万円となりました。経常利益では、事業譲渡に伴う利益影響度は限定的であり、原価抑制や固定費削減なども寄与し、前年同期（41百万円）に比べて9百万円増加し、50百万円となりました。

また、特別損益につきましては、投資有価証券の一部を売却したほか、新株予約権の権利行使期間満了による戻入益を計上したことにより、特別利益を111百万円計上いたしました。以上により、四半期純利益では、前年同期（65百万円）に比べて59百万円増加し、124百万円となりました。

①IT

■メディア事業

デジタルメディアにつきましては、主力のデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」（<http://www.watch.impress.co.jp/>）等の広告収入は軟調に推移し、電子書籍等のデジタルコンテンツ販売の増収で補えず、減収となりました。

出版メディアにつきましては、デジタルカメラ関連の雑誌販売及び広告収入が増収となったことに加えて、書籍刊行タイトルの増加などにより書籍販売が堅調に推移し、増収となりました。

ターゲットメディアにつきましては、登録顧客向けのメディア事業が主な事業内容であり、広告収入が収益の中心となっております。エンタープライズIT専門誌「IT Leaders」の広告収入は、前期の震災影響等による厳しい状況からは回復しつつあり、関連サービスも堅調に推移し、増収となりました。

これらの結果、メディア事業の売上高は、デジタル広告の減収を出版メディアとターゲットメディアで補い、前年同期（832百万円）比1.9%増の847百万円となりました。

■サービス事業

サービス事業は、前第2四半期連結会計期間にソフトウェアのオンライン販売事業を事業譲渡しており、販促物等の受託制作及びその周辺サービスが中心となっております。

受託制作等のサービスにつきましては、中国市場向けのプロモーションツールの制作受託の堅調な推移に加え、セミナー等のイベント収入は堅調に推移しましたが、事業譲渡に伴う売上高の減少（前期実績：173百万円）を補えず、減収となりました。

これらの結果、サービス事業の売上高は、受託制作やイベント収入は増収となりましたが、事業譲渡による減収により、前年同期（390百万円）比34.8%減の254百万円となりました。

以上により、「IT」の売上高は、前年同期（1,222百万円）比9.8%減の1,101百万円となりました。セグメント利益では、ソフトウェア販売事業の事業譲渡による利益影響は限定的であり、原価抑制や固定費削減により補い、前年同期（23百万円）比6.5%減の21百万円の利益となり、前年とほぼ同水準となりました。

②音楽

■メディア事業

音楽セグメントは、出版メディアが中心となっております。当第1四半期連結累計期間につきましては、書籍の販売が堅調だったことに加えて、楽器購入者向けの購買支援サイト「楽器探そう！デジマート」（<http://www.digimart.net/>）における楽器店からの登録料収入等が堅調に推移し、増収となりました。

以上により、「音楽」の売上高は、前年同期（603百万円）比0.5%増の606百万円、セグメント利益は、前年同期（64百万円）比0.5%増の65百万円の利益となりました。

③デザイン

■メディア事業

デザインセグメントは、出版メディアが中心となっております。当第1四半期連結累計期間につきましては、デザイン関連の書籍等の出荷が堅調に推移したことに加えて、デジタル広告も増収となりましたが、ムックの刊行タイトル減少による出荷規模の縮小などにより、減収となりました。

以上により、「デザイン」の売上高は、前年同期（149百万円）比7.9%減の137百万円となりました。セグメント利益では、原価削減効果は限定的となり減収を補えず、前年同期（1百万円）に比べ5百万円利益が減少し、4百万円の損失となりました。

④医療

■メディア事業

医療セグメントにつきましては、「持分法適用会社が営む事業」と位置付けております。当第1四半期連結累計期間につきましては、受託制作等のサービス事業は堅調に推移いたしましたが、広告収入等が減収となり、セグメント利益では、前年同期（5百万円の損失）に比べて5百万円損失が増加し、10百万円の損失となりました。

⑤山岳・自然

■メディア事業

山岳・自然セグメントの同事業は、出版メディアが中心となっております。当第1四半期連結累計期間につきましては、出版広告及びデジタル広告の増収に加えて、書籍刊行タイトルの増加などにより書籍販売が堅調に推移し、増収となりました。

なお、デジタル事業につきましては、デジタルコンテンツの販売などによる収入や登山情報サイト「Yamakei Online」（<http://www.yamakei-online.com/>）の広告収入を中心に堅調に推移しております。

以上により、「山岳・自然」の売上高は、前年同期（462百万円）比3.0%増の476百万円となりました。セグメント利益では、増収効果に加えて、固定費削減や返品率の改善などにより、前年同期（60百万円）比58.8%増の95百万円の利益となりました。

⑥モバイルサービス

モバイルサービスセグメントは、モバイル端末向けのコンテンツ制作、配信ソリューション及び関連サービスの提供が中心となっております。当第1四半期連結累計期間につきましては、スマートフォン向けの新規事業の開発に向けて準備を進めているものの、メディアの広告収入が減少したことに加えて、コミック関連のサービスサイトの運営受託収入などが減少したことにより、減収となりました。

以上により、売上高は、前年同期（192百万円）比4.7%減の183百万円となりました。セグメント利益では、固定費等のコスト削減により減収を補い、前年同期（1百万円）に比べて13百万円増益となり、15百万円の利益となりました。

⑦その他

その他セグメントにつきましては、売上高は、前年同期（57百万円）比6.2%減の54百万円となりました。セグメント利益では、電子出版を中心とした新規事業開発、既存事業の活性化及びR&Dを目的とした投資を行ったことにより、前年同期（5百万円）比56.2%減の2百万円の利益となりました。

⑧全社

全社セグメントは、グループの戦略策定及び経営管理等の機能を担う当社と、物流・販売管理機能を担う株式会社インプレスコミュニケーションズが区分されており、グループ会社からの配当、情報システム等の経営インフラの使用料及びグループ会社の物流・販売管理に伴う手数料収入を売上高として計上し、経営インフラ等の運営に係る費用を負担しております。

当第1四半期連結累計期間の全社区分につきましては、売上高は、グループ各社からの配当収入が増加したことなどにより前年同期（332百万円）比51.4%増の503百万円と大幅に増収となりました。全社セグメントの利益は、前年同期（40百万の損失）に比べ161百万円損失が減少し、120百万円の利益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結累計期間末は、前連結会計年度末に比べて総資産が722百万円、負債が101百万円増加いたしました。純資産につきましては、四半期純利益124百万円の計上及びその他の包括利益累計額が576百万円増加し、8,810百万円となりました。

純資産から新株予約権及び少数株主持分を引いた自己資本は8,781百万円となり、自己資本比率は64.1%と前連結会計年度末(62.8%)に比べて1.3ポイント増加いたしました。

主な増減は以下のとおりであります。

■流動資産 428百万円減少

受取手形及び売掛金の回収等により現金及び預金が増加したものの、短期借入金の返済125百万円や営業債務等225百万円を支出したこと等によるものです。

■固定資産 1,150百万円増加

満期保有目的債券の新規購入に加え、保有する投資有価証券の時価上昇により投資有価証券が1,018百万円増加したこと等によるものです。

■流動負債 267百万円減少

季節の変動要因により支払手形及び買掛金が81百万円、借入金の返済により短期借入金が125百万円減少したこと等によるものです。

■固定負債 368百万円増加

借入金の返済はあったものの実行により長期借入金が46百万円、保有する投資有価証券の時価上昇に伴い計上した長期繰延税金負債が314百万円増加したことによるものです。

■純資産 620百万円増加

四半期純利益124百万円のほか、投資有価証券の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が568百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社は、平成24年7月31日に連結業績予想の修正を行っております。

当第1四半期連結累計期間における業績動向につきましては、売上高は、前第2四半期連結会計期間にソフトウェアのオンライン販売事業を譲渡したことなどにより減収となりましたが、経常利益では、主力事業である出版メディアをはじめ中国関連事業なども堅調に推移し、増益となりました。

一方、第2四半期連結累計期間以降の連結業績につきましては、委託販売制度による返品リスクや広告市場の変動リスクなどがあるものの、概ね予定通りの進捗を予定しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,152,756 | 4,402,750 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,917,817 | 3,305,775 |
| 有価証券 | 601,318 | 500,189 |
| 商品及び製品 | 981,691 | 1,119,300 |
| 仕掛品 | 107,330 | 87,799 |
| 繰延税金資産 | 32,881 | 32,881 |
| その他 | 279,809 | 174,735 |
| 返品債権特別勘定 | △24,400 | △32,000 |
| 貸倒引当金 | △41,486 | △11,930 |
| 流動資産合計 | 10,007,718 | 9,579,502 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 145,794 | 170,901 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,051 | 761 |
| ソフトウェア | 135,771 | 143,963 |
| ソフトウェア仮勘定 | 24,172 | 3,915 |
| その他 | 14,699 | 14,199 |
| 無形固定資産合計 | 175,694 | 162,839 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,278,661 | 3,296,978 |
| その他 | 377,519 | 526,286 |
| 貸倒引当金 | △710 | △29,710 |
| 投資その他の資産合計 | 2,655,470 | 3,793,554 |
| 固定資産合計 | 2,976,959 | 4,127,295 |
| 資産合計 | 12,984,678 | 13,706,798 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,322,559 | 1,241,395 |
| 短期借入金 | 735,000 | 610,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 64,000 | 64,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 430,068 | 455,168 |
| 未払法人税等 | 42,726 | 44,583 |
| 賞与引当金 | 169,294 | 46,428 |
| 役員賞与引当金 | 3,500 | — |
| 返品調整引当金 | 226,015 | 206,715 |
| その他 | 674,657 | 732,500 |
| 流動負債合計 | 3,667,820 | 3,400,791 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 40,000 | 40,000 |
| 長期借入金 | 374,998 | 421,431 |
| 退職給付引当金 | 648,858 | 656,081 |
| その他 | 63,153 | 377,830 |
| 固定負債合計 | 1,127,010 | 1,495,343 |
| 負債合計 | 4,794,830 | 4,896,134 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,341,021 | 5,341,021 |
| 資本剰余金 | 5,544,617 | 2,199,308 |
| 利益剰余金 | △2,415,053 | 983,102 |
| 自己株式 | △418,873 | △418,898 |
| 株主資本合計 | 8,051,711 | 8,104,534 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 111,165 | 679,482 |
| 為替換算調整勘定 | △10,458 | △2,088 |
| その他の包括利益累計額合計 | 100,707 | 677,394 |
| 新株予約権 | 28,487 | 16,840 |
| 少数株主持分 | 8,941 | 11,894 |
| 純資産合計 | 8,189,848 | 8,810,663 |
| 負債純資産合計 | 12,984,678 | 13,706,798 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 2,691,768 | 2,572,625 |
| 売上原価 | 1,688,069 | 1,560,647 |
| 売上総利益 | 1,003,698 | 1,011,977 |
| 返品調整引当金戻入額 | 14,439 | 11,699 |
| 差引売上総利益 | 1,018,138 | 1,023,677 |
| 販売費及び一般管理費 | 980,712 | 965,076 |
| 営業利益 | 37,425 | 58,601 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3,473 | 4,563 |
| 受取配当金 | 2,786 | 4,769 |
| 貸倒引当金戻入額 | 8,715 | 676 |
| その他 | 4,362 | 2,935 |
| 営業外収益合計 | 19,338 | 12,945 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5,000 | 4,695 |
| 持分法による投資損失 | 5,596 | 10,655 |
| 為替差損 | 4,080 | 5,000 |
| その他 | 336 | 291 |
| 営業外費用合計 | 15,013 | 20,643 |
| 経常利益 | 41,750 | 50,903 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 35,094 | 99,717 |
| 新株予約権戻入益 | 247 | 11,646 |
| 持分変動利益 | 12,742 | — |
| 特別利益合計 | 48,084 | 111,364 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 61 | 1,421 |
| その他 | — | 700 |
| 特別損失合計 | 61 | 2,121 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 89,773 | 160,146 |
| 法人税等 | 23,829 | 32,550 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 65,943 | 127,596 |
| 少数株主利益 | 725 | 2,952 |
| 四半期純利益 | 65,217 | 124,643 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 65,943 | 127,596 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 9,159 | 568,255 |
| 為替換算調整勘定 | 2,944 | 8,369 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △6 | 61 |
| その他の包括利益合計 | 12,097 | 576,686 |
| 四半期包括利益 | 78,041 | 704,283 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 77,315 | 701,330 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 725 | 2,952 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(1) 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | | | その他 (注) 1 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3 |
|------------------|-----------|---------|---------|---------|---------|--------------|-----------|--------------|--------------|-------------------------------|
| | I T | 音楽 | デザイン | 医療 | 山岳・自然 | モバイル サービス | 計 | | | |
| 売上高 | 1,222,189 | 603,196 | 149,511 | — | 462,325 | 192,818 | 2,630,041 | 57,717 | 4,008 | 2,691,768 |
| セグメント利益又はセグメント損失 | 23,049 | 64,708 | 1,378 | (5,138) | 60,455 | 1,205 | 145,658 | 5,166 | (109,073) | 41,750 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・受託制作・デジタルコンテンツ販売及び配信受託事業等が含まれております。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額の差異の内容

セグメント利益の調整額△109,073千円には、事業セグメント以外の売上高19,666千円、セグメント間取引消去△15,658千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△123,834千円、その他調整額10,751千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の経常利益と調整を行っております。

(2) 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | | | その他 (注) 1 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3 |
|------------------|-----------|---------|---------|----------|---------|--------------|-----------|--------------|--------------|-------------------------------|
| | I T | 音楽 | デザイン | 医療 | 山岳・自然 | モバイル サービス | 計 | | | |
| 売上高 | 1,101,924 | 606,310 | 137,647 | — | 476,082 | 183,754 | 2,505,720 | 54,145 | 12,759 | 2,572,625 |
| セグメント利益又はセグメント損失 | 21,559 | 65,015 | (4,569) | (10,655) | 95,974 | 15,134 | 182,459 | 2,263 | (133,819) | 50,903 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・受託制作・デジタルコンテンツ販売及び配信受託事業等が含まれております。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額の差異の内容

セグメント利益の調整額△133,819千円には、事業セグメント以外の売上高23,481千円、セグメント間取引消去△10,721千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△149,603千円、その他調整額3,024千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の経常利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 配当支払額

平成24年5月17日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

| | | |
|---|----------|------------|
| ① | 配当金の総額 | 71,796千円 |
| ② | 1株当たり配当額 | 2.00円 |
| ③ | 基準日 | 平成24年3月31日 |
| ④ | 効力発生日 | 平成24年6月25日 |
| ⑤ | 配当の原資 | その他資本剰余金 |

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成24年5月17日開催の取締役会の決議により、その他資本剰余金の額5,544,617千円のうち
3,273,513千円を繰越利益剰余金に振替えることにより欠損填補に充当いたしました。